

診療科特集 Vol.2

外科(消化管)

“Specialist”が集まり
 県央の消化器癌・消化器疾患の治療を担う



当院外科は、肝胆膵外科(スタッフ3名)、乳腺外科(同2名)、消化管外科(同5名(うち小児外科との兼任1名))の10名とレジデント2名の12名からなります。

当院消化管外科の特徴として、Specialistが充実していることです。上部(食道、胃)、下部(小腸・大腸)ともに専門医が存在するのは、長崎県下でも限られた施設のみとなります。

日本外科学会 指導医	7
日本外科学会 外科専門医	10
日本消化器外科学会 指導医	5
日本消化器外科学会 専門医	5
日本消化器病学会 専門医	3
日本消化器内視鏡学会 専門医	1
日本食道学会 食道外科専門医	1
日本大腸肛門病学会 指導医	1
日本大腸肛門病学会 専門医	1
日本内視鏡外科学会 技術認定医	2

腹腔鏡下手術の積極的適応による低侵襲手術の実現

2015年の手術術式では、食道癌14例、胃癌83例、結腸・直腸癌122例、直腸手術55例と、消化管癌の手術では、長崎県の施設中、屈指の手術数です。腹腔鏡

下手術は積極的に行っており、大腸癌手術の90%を単孔式含めた腹腔鏡下手術で行っていました。

2015年の入院数

	症例数
食道癌	32
胃癌	100
結腸癌/直腸癌	238
肝癌・転移性肝癌	33
胆道癌	12
脾癌・脾腫瘍	15
乳癌	156
胆嚢疾患・胆嚢炎	78
小児外科疾患	88
甲状腺/副甲状腺疾患	33

2015年の手術術式

術式	患者数
食道癌	14
胃切除術(胃癌)	83
結腸癌・直腸癌	122
直腸手術	55
肝切除術	56
胆嚢・胆道手術	112
脾切除術	23
甲状腺切除術	31
乳腺手術	114
小児手術	88

2015年の手術数

総手術数	全身麻酔	腰椎麻酔・硬膜外麻酔	局所麻酔
981	892	12	76

予定手術(待機手術)	緊急手術
869	112



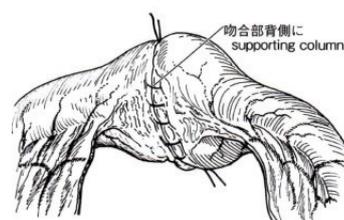
鏡視下食道切除術の胸部創と腹部創



腹腔鏡下胃全摘術後の創部

炎症性腸疾患の拠点病院として

炎症性腸疾患外科は、炎症性腸疾患に特化した知識と経験が必要となります。大腸肛門病学会専門医・指導医・評議員がおり、日本炎症性腸疾患学会に所属し、豊富な経験と手術手技にて、術後の QOL を考慮したベストの外科治療を提供できる体制にあります。

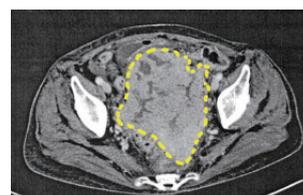
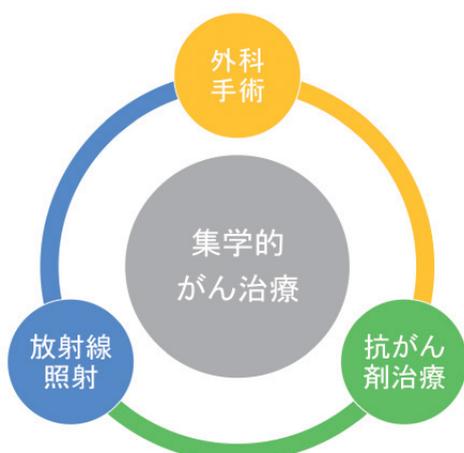


クローン病に対する外科治療
術後合併症予防、再燃予防目的のKono-S吻合による再建

集学的治療による治療成績向上

近年の外科治療の進歩は目覚ましいものがあり、とくに鏡視下手術といわれる胸腔鏡下手術、腹腔鏡下手術は、体の負担が軽く、開腹手術に比べて合併症が少なく、疼痛が軽減されることが、本邦の大腸癌の他施設共同臨床試験の結果で証明されました (JCOG0212)。低侵襲化の一方で高度に進行した消化管癌の場合、外科的切除のみで治療が難しい場合もあります。近年では、全身化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療を行い、

より治癒度の高い治療を提供するようになりました。治療が高度となるため、専門医による診療が必須ですが、当院では、全身化学療法ならびに放射線療法が可能であり、さらに、癌の診断・治療に有用な PET/CT を備えており、消化管癌に対する集学的治療の体制が整っています。当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、院内には県央がんセンターを設け、質の高いがん医療を提供しています。



化学療法前



化学療法後

集学的治療の一例。骨盤内を占める大きな大腸癌で切除が不能であったが、全身化学療法を行い、縮小させ、外科的に根治手術を行った。

臨床研究を通じて新たな治療法の確立へ

当科では、外科的治療のみならず、全国的な研究に参加しております。消化器癌に対する化学療法他施設共同臨床試験や、大腸癌に対する手術術式についての多施設共同臨床試験に参加し、有効な治療法の確立に寄与し

ております。また、自主研究も行っております。いずれも、当院での倫理委員会にて承認を受け、患者さんの不利益とならないように配慮しております。

実施中の多施設共同臨床研究ならびに治験

- CHP-NY-ESO-1: ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験 (IMF-001 医師主導治験)
- KSCC1401: 切除不能KRAS野生型大腸癌に対する1次療法としてのセツキシマブ + IRIS療法に関する第 I / II 相臨床試験
- KSCC1501A: 化学療法未治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1療法について検討する第II相臨床試験
- KSCC1601: 局所進行胃癌・食道胃接合部癌に対する術前化学療法としてのS-1+オキサリプラチン併用療法の有効性・安全性について検討する第II相臨床試験
- PARADIGM試験・付随試験: RAS遺伝子 (KRAS/NRAS遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ペバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第III相無作為化比較試験 および治療感受性、予後予測因子の探索的研究

当科は消化管内科、救急科、麻酔科とシームレスな連携を行い、救急疾患から高度進行癌、炎症性腸疾患を含めたトータルケアを実践しております。患者さんの皆様の御要望にお応えできるよう、日々、努力を重ねています。

